

## 平成28年台風第10号災害におけるボランティア活動の状況について

### 第1 平成28年台風第10号災害におけるボランティア活動について

#### 1 ボランティア活動者数

発災以降、県内で社会福祉協議会のボランティアセンターを通じて活動したボランティアの延べ人数は、平成28年11月10日までに延べ2万1千人以上となっている。

	岩泉町	久慈市	宮古市	遠野市	大槌町	野田村	合計
要請件数	742	400	373	3	3	18	1,539
完了件数	724	400	373	3	3	18	1,521
進捗率	97.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%
参加者数	14,928	3,642	2,977	35	60	125	21,767

※ 遠野市、大槌町、野田村は通常のボランティアセンターで対応。

※ 宮古市社協の災害ボランティアセンターは10月10日で閉鎖し、通常体制で運営中。

※ 久慈市社協の災害ボランティアセンターは10月31日で閉鎖し、通常体制で運営中。

※ 岩泉町社協の災害ボランティアセンターサテライト(小本、小川)は10月31日で閉鎖し、本部1カ所で運営中。

#### 2 災害ボランティアセンターの開設状況

台風10号災害により、県内3市町(宮古市、久慈市、岩泉町)の社会福祉協議会において、災害ボランティアセンターが設置され、岩手県社会福祉協議会及び県内各市町村社会福祉協議会の支援を受けて運営された。また、一部ボランティアセンターにおいてはNPO団体等が運営支援を実施した。

### 第2 ボランティア活動への支援について

#### 1 各機関によるボランティア支援の取組

岩手県社協や市町村等により、被災市町へのボランティアバスが運行された。

そのほか、各機関において、高速道路料金の無償措置(11月30日まで)、三陸鉄道やJRバスなどの公共交通機関での運賃無料化(いずれも10月31日で終了)などの支援が行われた。

#### 2 県によるボランティア支援の取組

県では、ボランティア確保に向けて以下のような取組を実施した。今後も引き続き、ボランティアやボランティアセンターの活動を支援していくこととしている。

##### ○ ボランティアセンターへの活用資材の提供

ボランティア活動に必要な資材について、3市町(宮古市、久慈市、岩泉町)のボランティアセンターへ提供した。

- ・ 9月16日提供(3市町ボランティアセンター分)

スコップ130丁、一輪車14台、土嚢袋7,200枚

- ・ 10月7日提供(岩泉町ボランティアセンター分)

踏み抜き防止インソール180組、側溝用掃除用具60本、小型スコップ60本

##### ○ 県民等への情報発信

県ホームページにて、災害ボランティアの募集について掲載(岩手県社協ホームページへのリンクによる)したほか、いわてグラフ10月1日号や県政テレビ番組「わんこ広報室」のお知らせ枠(10月24日～29日放送分)にて、災害ボランティア募集について県民への情報発信を実施した。